

青森県観光情報サイト

【基本設計書】

第 1.00 版

2021 年 2 月 1 0 日

青森県観光国際戦略局 誘客交流課

目次

1 青森県観光情報サイト概要	5
1-1 青森県観光情報サイト	5
1-2 事業概要・目的	5
1-3 背景～現状	5
1-3-1 背景	5
1-3-2 現状	5
1-3-3 課題① レスポンシブウェブデザイン	6
1-3-4 課題② 誘客につながる情報発信	6
1-3-5 解決策案①（レスポンシブウェブデザイン化）	6
1-3-6 解決策案②（誘客につながる情報発信）	7
1-3 コンセプト	7
2 青森県観光情報サイトの構成	8
2-1 青森県観光情報サイト運用構成図	8
2-2 サイト仕様	8
2-2-1 CMS	8
2-2-2 レスポンシブウェブデザイン	9
2-2-3 ソーシャルリスニングの実施	9
2-2-4 検索ワードとランディングページの整合性	9
2-2-5 検索の入力フォームの簡略化・入力時のヒント	9
2-2-6 ユーザビリティへの配慮	9
2-2-7 アクセシビリティへの配慮	10
2-2-8 対応 OS・ブラウザについて	10
2-3 サイト構成	10
2-4 サイトマップ	10
3 コンテンツ	11
3-1 主となるコンテンツの特徴・役割	11
3-2 コンテンツ構成	11
3-3 コンテンツ仕様	12
3-4 特集記事コンテンツ	12
3-5 交通・アクセス情報、観光案内所情報	12
3-6 観光事業者・メディア情報	12
3-7 観光情報コンテンツ	12

3-8 映像コンテンツ	13
3-8-1 映像の本数と内容	13
3-8-2 ショートムービーの内容	14
3-8-3 トップページ用映像	14
3-8-4 ショートムービー・トップページ映像仕様	14
3-8-5 特集記事コンテンツ用映像	14
3-8-6 特集記事コンテンツ用映像仕様	14
4 デザイン	15
4-1 コンセプト	15
4-2 トップページデザイン	15
4-3 コンテンツページデザイン	21
5 サイト機能	54
5-1 地図表示機能	54
5-2 イベントカレンダー機能	54
5-3 画像ダウンロード機能	54
5-4 関連記事レコメンド機能	54
5-5 チャットボット連携表示機能	55
5-6 SNS 連携機能	55
5-7 AI システム連携機能	55
5-8 お問い合わせ機能	55
5-9 緊急情報発信機能	55
5-10 アクセス解析・ヒートマップ表示機能（サイト管理者側機能）	55
6 CMS	56
6-1 ログイン機能	56
6-2 ユーザー管理	56
6-3 ユーザー権限	57
6-4 お知らせ・新着情報管理	57
6-5 観光情報データベース管理	57
6-6 任意作成ページ管理	58
6-7 メディア管理	58
6-8 公開状態管理	58
6-9 カテゴリー管理	58
6-10 ピックアップ情報管理	59
7 表示画面	59
7-1 トップページ	59
7-2 観光情報データベース及びイベント情報、画像ダウンロードに係るページの仕様	60

7-2-1	観光情報データベース検索結果一覧表示ページ	60
7-2-2	イベント情報検索結果一覧表示ページ	60
7-2-3	観光情報データベース個別詳細ページ	60
7-2-4	イベント情報個別詳細ページ	61
7-2-5	画像ダウンロード 対象画像一覧表示ページ	61
7-2-6	画像ダウンロード 選択画像一覧表示ページ	61
8	サーバー	61
8-1	データセンター要件	61
8-2	サーバー要件	62
9	セキュリティ	62
9-1	サーバー・ネットワーク	62
9-2	ウェブサイト・CMS	62
10	保守管理	63
10-1	ソフトウェア保守	63
10-2	平常時保守	63
10-3	障害時保守	63
11	コンテンツ更新・運用	64
11-1	観光情報データベースの更新	64
11-2	特集記事コンテンツの更新	64
11-3	運用	64

1 青森県観光情報サイト概要

1-1 青森県観光情報サイト

青森県全域の観光スポット、食、工芸品、特産品、温泉、宿泊施設、イベント、まつりなどの情報と魅力を発信する青森県観光情報サイト。インターネットの普及に合わせて開設され、観光情報データベースをメインとし、約 20 年間運営されてきたが、今後は変化していく時代の中で、より利便性の高い、消費者ニーズに合わせたサイトに進化し続けていくことが最重要となる。

1-2 事業概要・目的

旅行前に本県への興味・関心を持ってもらい、旅行気運を最大限に高めるためには、情報発信の基盤となる青森県観光情報サイトの果たす役割が大きいことから、青森県観光情報サイトの再構築により、サイトを訪れた利用者に対し訴求力を強化することを目的とする。

1-3 背景～現状

1-3-1 背景

株式会社 JTB（2020/05/28 付のニュースリリース）によると、新型コロナウイルス感染拡大以降、外出自粛や渡航制限の解除で、やりたいこと上位3つは、「国内旅行（40.9%）」、「外食（40.5%）」、「友人知人に会う（39.1%）」である。第一生命経済研究所によると、Go To キャンペーンをはじめとするウィズコロナの観光業の対策としての効果を試算、旅行は55%の需要押し上げ効果、市場規模拡大は最大1.37兆円になる見込みである。

アフターコロナと観光について、日本政府観光局によると、これまでの団体旅行やツアー旅行、長期旅行は減少し、個人旅行や小規模なツアー旅行の傾向が強まる推測がされている。さらに、観光情報の収集をはじめ、各種申込みなど、様々な過程においてオンライン化が進むため、観光情報サイトに求められる機能や役割も、より大きくなっていく。

青森県の人口密度は1k㎡あたり129人と、全国で41位の低密度県である。ソーシャルディスタンスの観点からは、アドバンテージがあると言っても良い。

1-3-2 現状

青森県観光情報発信の中心となる「青森県観光情報サイト」は2001年に開設、2009年と2014年（モバイルサイト構築）に改修。開設から約20年もの間に、スマートフォンの普及率が急速に進み、総務

省令和元年度版情報通信白書によれば、スマートフォンの全体保有率が79.2%と上昇、モバイル端末全体（携帯電話・PHS 及びスマートフォン）の保有率も84.0%と上昇傾向にある。また個人のスマートフォンの保有率は64.7%にのぼっている。

現在の「青森県観光情報サイト」は、まだスマートフォンが普及する以前にパソコンユーザー向けに構築が行われたものである（参考：総務省平成29年度版情報通信白書によると、2010年度のスマートフォンの全体保有率が9.7%）。見え方こそ2014年にスマートフォンに合わせた表示形式をとるなどの対応を行ったが、ユーザー離れは著しく、ページビュー数は年々低下してきている。

また、SNSの利用が拡大し、InstagramやTwitter、Facebookでは写真や口コミから、YouTubeでは動画から情報を取得する傾向が見られ、オフィシャルサイトに依存しない動きも顕著であり、現在の観光情報データベースに掲載されている内容では、ユーザーのニーズに合わなくなっている。

1-3-3 課題① レスポンシブウェブデザイン

今年度は5月補正「国内旅行需要回復緊急対策事業」でトップページと一部をレスポンシブウェブデザイン化し、リニューアルしたが、改修したのはサイト入口付近のみで、その先にある観光情報データベースや、多くの観光情報ページはレスポンシブウェブデザイン未対応のままであり、ユーザビリティは低く、トップページから遷移した場合、サイトからの離脱率も多いことが予想される。サイト全体としても多くのページがレスポンシブウェブデザイン未対応であり、視認性、操作性が悪いため、情報の訴求力にも影響している。

「旅マエ」「旅ナカ」の旅行者のニーズに対応した情報の提供をするためには、サイト全体のレスポンシブウェブデザイン化は急務である。レスポンシブウェブデザイン化された他県の観光情報サイトと比較して、アクセス数においてもハンディキャップとなり、競争力が低下していることも現在の課題である。

1-3-4 課題② 誘客につながる情報発信

県内の観光情報が集約・蓄積された青森県観光情報サイトの観光情報データベースには、大きな価値があるが、掲載されている概要文や画像の中には、時間が経過しているものも見られ、すべてが最新の情報ではない。また、各観光素材の魅力を十分に伝える形式にはなっておらず、観光情報データベース内の情報だけでは、物足りなさを感じることも否めない。

1-3-5 解決策案① （レスポンシブウェブデザイン化）

「青森県観光情報サイト」全体をレスポンシブウェブデザイン化することでユーザビリティの向上を図る。観光客の獲得と満足度向上、「旅マエ」「旅ナカ」の旅行者のニーズに対応した情報発信を行う上での基盤整備として優先度が高く、必要不可欠である。

レスポンスウェブデザインのメリットは、

- ページの見やすさ等、ユーザビリティが向上、検索順位にもプラスの効果がある
- デバイス毎にページを制作する必要がないため、コンテンツの更新が一度の作業で対応可能
- PC・スマホユーザー共に同じ情報を提供できる（一元管理・情報の差異が生じない）
- URL が統一されるのでシェアされやすい（デバイスの種類に関係なく、一つの URL での案内となる）等が挙げられる。

1-3-6 解決策案②（誘客につながる情報発信）

旅行者のニーズに合わせた訴求力のある内容として情報を発信するには、観光情報データベースの各観光素材の情報を最新の内容に更新・最適化を行い、更に重要な観光素材については深掘りし、その文化に触れ、ストーリー性を持たせた記事系コンテンツとして積極的に発信することが観光需要にも繋がっていく。

- ① 観光地の魅力を引き出し、多様な旅のテーマを提供、ストーリー性がある記事を掲載する。今年9月から作成・公開した特集記事「青森の絶景と出会う旅」「神秘の十和田湖と八甲田山」など、特集記事コンテンツとして継続的に発信。季節や旬など、見頃に合わせリアルタイムな情報としてコンテンツを制作。観光素材自体の魅力のほか、映画の舞台になったなどエピソードの紹介、そこで体験できるアクティビティや足を伸ばしたくなる周辺情報など様々な情報を関連付けて伝える。
- ② 記事系コンテンツの特性として動画・ショートムービーが効果的であるため、動画を制作・活用し最大限に魅力を伝える。自然景観やイベント・祭り、体験アクティビティなど写真と文章だけでなく動画も加えることで旅を予感させ、特集記事として青森県観光の魅力を視覚的に強く伝える。

1-3 コンセプト



REMIX AOMORI

青森県の新たな魅力を

青森の Culture（文化）と、Story（歴史）こそが、新しい観光のはじまり。
そのすべてをクリエイティブな視点・発想で発見、新たな形で伝えたい。

2 青森県観光情報サイトの構成

2-1 青森県観光情報サイト運用構成図

ウィズコロナ・アフターコロナにおいて、ホームページを活用しての情報発信やプロモーションは、重要かつ有効な手段であることは明確だが、そのためには、観光戦略や誘客事業の積極的なマーケティングの動きの中で「使われる Web サイト」であることが最重要となる。

各コンテンツは観光情報データベースと連動し、利用者の利便性の向上を図るものとする。

▼運用構成図



2-2 サイト仕様

2-2-1 CMS

構築にあたっては、利用者にとって最新の観光情報が調べやすく、使いやすいことに加え、更新を行う職員にとっても容易に運用ができるよう、コンテンツ・マネジメント・システムを導入すること。

また、作成されるコンテンツは、テンプレート等によりフォーマットが統一されたもので、専門知識なく、職員の誰もがアクセシビリティに配慮されたページが作成できるようにすること。

留意事項

- サイト全体の統一的な品質確保

- 情報発信の迅速性の向上
- 完全性の向上
- 簡易な操作性の確保
- 適切なレスポンスの確保
- 緊急時における速やかな情報発信
- 拡張性の確保
- セキュリティの確保

2-2-2 レスポンシブウェブデザイン

パソコン版及びスマートフォン版、タブレット版のサイト設計を行うこと。スマートフォン版は、閲覧者の利用場面を想定し、操作性、視認性が確保できる設計を行うこと。

2-2-3 ソーシャルリスニングの実施

SNS を活用し投稿内容などから、アプティネット関連の口コミなどを抽出しマーケティングを行うこと。

2-2-4 検索ワードとランディングページの整合性

ランディングページ制作時には検索キーワード調査し制作を行うこと。

留意事項

- ユーザーの興味やニーズの把握
- 自然検索流入数の向上

2-2-5 検索の入力フォームの簡略化・入力時のヒント

検索の入力フォームは、入力補助や文字変換など、エラーが発生しやすい項目をアシストするなど工夫すること。また、人気のあるサイト内検索キーワードごとに、ユーザーが探している、期待しているコンテンツであるかの確認を行うこと。

2-2-6 ユーザビリティへの配慮

すべての人が使いやすいユーザビリティへの配慮を行うこと。

留意事項

- わかりやすさ 説明なしでも操作できること。階層の深さの配慮と現在位置のわかりやすさ。
- 操作効率の良さ 画面遷移が簡単にできること。ページレイアウトに一貫性を持たせること。
- 記憶しやすさ メニュー項目の数や選択肢の数。
- 間違いのなさ 選択結果の表示やカテゴライズの正確さ、リンク先情報の適切な表示。
- 満足感の付与 ユーザーの環境に合わせたレイアウト。コンテンツの優先順位。表示の速さ。

2-2-7 アクセシビリティへの配慮

目標とする達成等級 JIS X 83413:2016 に準拠し、ホームページ全体の達成基準が「レベル A」を満たし、可能な限り「レベル AA」を満たすよう制作する。また、閲覧者が使用する音声読み上げソフトにできる限り対応できるように、作成されたコンテンツのソースはアクセシビリティに配慮した順番で記述すること。

2-2-8 対応 OS・ブラウザについて

閲覧者の使用するブラウザは以下のものを想定しており、これらのブラウザにてレイアウトが崩れないように制作すること。

動作環境について

- OS：Windows10、Mac OS 最新版、iOS、android
- パソコン：Microsoft Edge の最新版、Firefox の最新版、Google Chrome の最新版、Safari の最新版
- スマートフォン：iPhone および Android の標準ブラウザ

2-3 サイト構成

閲覧者が目的のコンテンツを即座に探し出せることを重要視し、現行サイトの課題や本業務の目的等を勘案し、最適と考えるサイト設計を行うこと。

フロントエンド

- 閲覧者にとっての使いやすさの追求
- 複数の導線の確保
- 閲覧者の利用場面を想定し、操作性、視認性の確保

バックエンド

- 拡張性の高さ
- 専門知識、技術を持たない職員でも、編集が可能な CMS の導入
- 将来的なシステムの拡張性
- セキュリティ対策等の定期的な保守

2-4 サイトマップ

青森県観光情報サイトの目的を考慮し作成すること。

留意事項

- 主要なページはトップページからアクセスできること
- 特集記事コンテンツ及び各コンテンツと観光情報データベースとを連携し相互に誘導させること
- サイトの回遊性向上と循環を促すこと
- ユーザビリティを考慮した階層とすること

3 コンテンツ

3-1 主となるコンテンツの特徴・役割

① 特集記事コンテンツ

データベースではなく、コンテンツを見せて読ませることを目的とし、未訪県者に青森への関心・興味を喚起する内容を掲載する。

② 観光情報コンテンツ

青森県全域の魅力的な観光素材の最新情報（概要や基本情報）及び交通・アクセス情報について、旅行者の利便性確保と、満足度向上のため、分かりやすく正確に掲載する。

3-2 コンテンツ構成



- コンセプトに基づき、特集記事コンテンツを定期的に制作する。
- 特集記事コンテンツを充実させ、観光情報データベースと連携・誘導、サイトの回遊性向上と循環

を促す。

- 旅マエ・旅ナカに向けた情報の役割を明確にしながら、ユーザーが探す情報にたどり着きやすく、必要な最新の情報を効率良く入手できること。
- 青森県観光のブランドイメージをサイト全体でPRする構成とすること。

3-3 コンテンツ仕様

各観光素材の情報（テキスト・画像・位置情報等）は構築時において、リアルタイムな情報（最新の情報）であること。

3-4 特集記事コンテンツ

カテゴリーを「風景」、「食」、「工芸・アート」、「文化」の4つに分類し、各カテゴリー同士を組み合わせて内容の充実を図り、季節ごとのテーマについて、リアルタイムな情報発信を行う。

県内外のトップクリエイター、ライター、写真家による美しい写真とともに質の高い読み物を制作。青森のポテンシャルを伝えられる内容とする。

既存のデータ（画像・原稿・動画）は使用せず、コンセプトに合せ、新たに特集記事を制作する。企画・取材・ライティング・撮影・ページデザインの細部にまでこだわりを持つことで、サイトに訪れた人が、風景や空間、そこで暮らす人々とつながっているような内容の読物を提供すること。

季節や旬、見頃に合わせ、フレキシブルな取材・撮影に対応できる体制を保持すること。年間で6個の特集記事を制作すること。

3-5 交通・アクセス情報、観光案内所情報

県内の観光協会、観光案内所の一覧、交通・アクセスをまとめたページの制作。ページ数は1ページでなくてもよい。

3-6 観光事業者・メディア情報

観光パンフレットや写真等、旅行会社等の観光事業者が使用する際の利便性に配慮した問い合わせ先等の情報をまとめたページの制作。ページ数は1ページでなくてもよい。

3-7 観光情報コンテンツ

現サイトに掲載されている観光情報データベースを基にし、各観光地等のデータの移行・更新・新規追加等を行う。

カテゴリーや掲載内容については、現在の属性を参考としながら、最適に分類し、かつ最新の情報に更新すること。

※現在の観光素材のカテゴリー

- イベント
- 祭り
- 観光施設
- 歴史・文化
- 自然・景勝
- 体験
- 温泉
- 宿泊施設
- 食
- 特産品
- 工芸品
- ショッピング
- 交通
- レクリエーション
- スキー場
- コンベンション施設
- ボランティアガイド
- バリアフリー
- DC関連

3-8 映像コンテンツ

サイト内および SNS で使用する映像の制作を行う。

映像は基本的に新規に撮影するものとし、季節ごとの青森県の魅力を伝えることができる構成とする。その季節ごとの注目の観光地を撮影し、県外居住者に対し青森への旅行のきっかけとなる映像群を整え発信する。

3-8-1 映像の本数と内容

- 季節ごとのショートムービー 4 本
- トップページ用の全季節を合わせた映像 1 本
- 特集記事コンテンツ用ミニ映像

3-8-2 ショートムービーの内容

各季節の青森県の自然景観を魅力的に紹介する映像とする。

観光客目線で「ここに行ってみたい」という興味を喚起する映像とする。

リモート観光をしているような、そこに居て見ているような臨場感とリアルタイム性のある映像とする。

- サイトのデザイン・写真と合ったタッチの映像であること
- 各映像の被写体に関しては、都度協議の上決定する
- 一本あたり全県の中から3～4箇所程度の被写体を選定し紹介する
- 事前に現地調査を行い、各被写体の撮影に適した場所・時節において撮影する
- 業務用カメラをメインとした機材を用いて撮影した美しい映像とする
- カメラ設定と撮影手法を統一した上で撮影し、適切なグレーディング・編集を行った一体感のある映像とする
- SNSでの使用、スマホでの閲覧を考慮した画角で撮影し、適した長さに編集する
- 必要に応じ、空撮・水中撮影・タイムラプス・スーパースローモーション・ジンバル・ドリー等の撮影手法を効果的に使用する
- 環境音とBGMを効果的に使用する

3-8-3 トップページ用映像

季節ごとの映像素材を使用して再編集し、青森県の1年間を通した観光資源を紹介する映像。

3-8-4 ショートムービー・トップページ映像仕様

時間：60秒-180秒

形式：mov / mp4

フォーマット：1080p(1920×1080)以上

フレームレート：24p or 30p オーディオ：ステレオ

3-8-5 特集記事コンテンツ用映像

特集記事コンテンツで取り上げるものと連動した映像。

映像で紹介した方が伝わりやすい内容の場合に制作。

該当ページに埋め込む軽量の15～20秒程度のmp4ファイルとし、SNSでの広告やアイキャッチ的役割にも使用。

3-8-6 特集記事コンテンツ用映像仕様

時間：15秒-20秒

形式：mp4

フォーマット：720p or 1080p

フレームレート：24p or 30p

オーディオ：なし

ページ埋め込みでの利用のため、読み込み速度が落ちないようにファイルサイズに関してページ全体のバランスの中で調整を行いユーザビリティに留意すること。

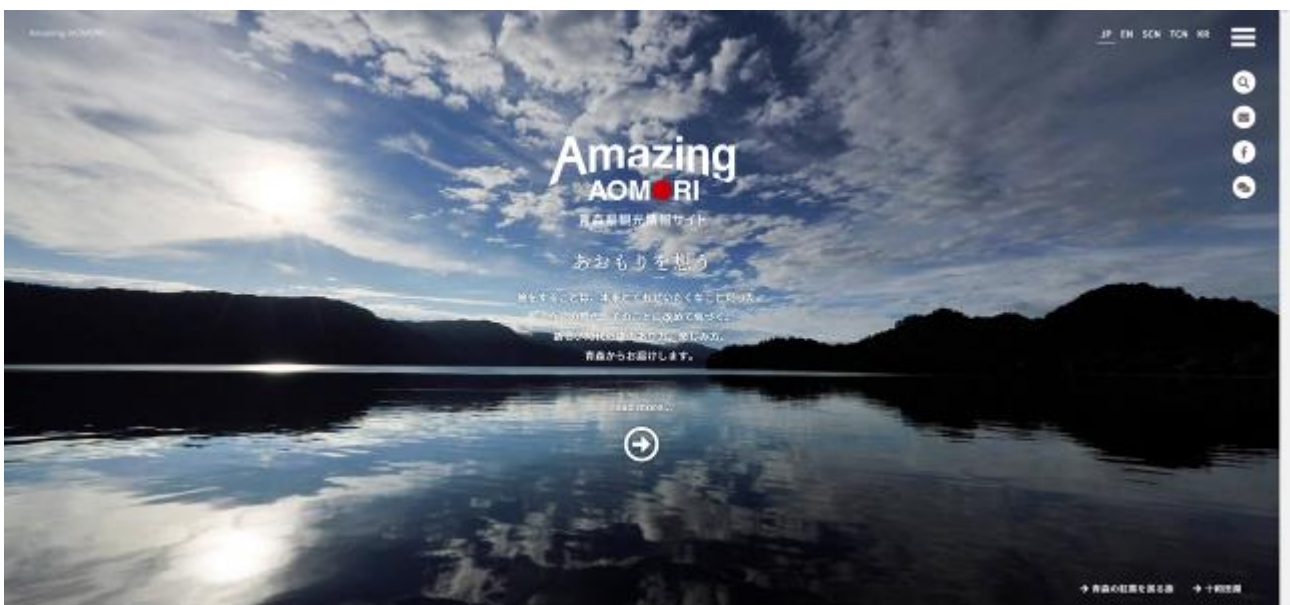
4 デザイン

4-1 コンセプト

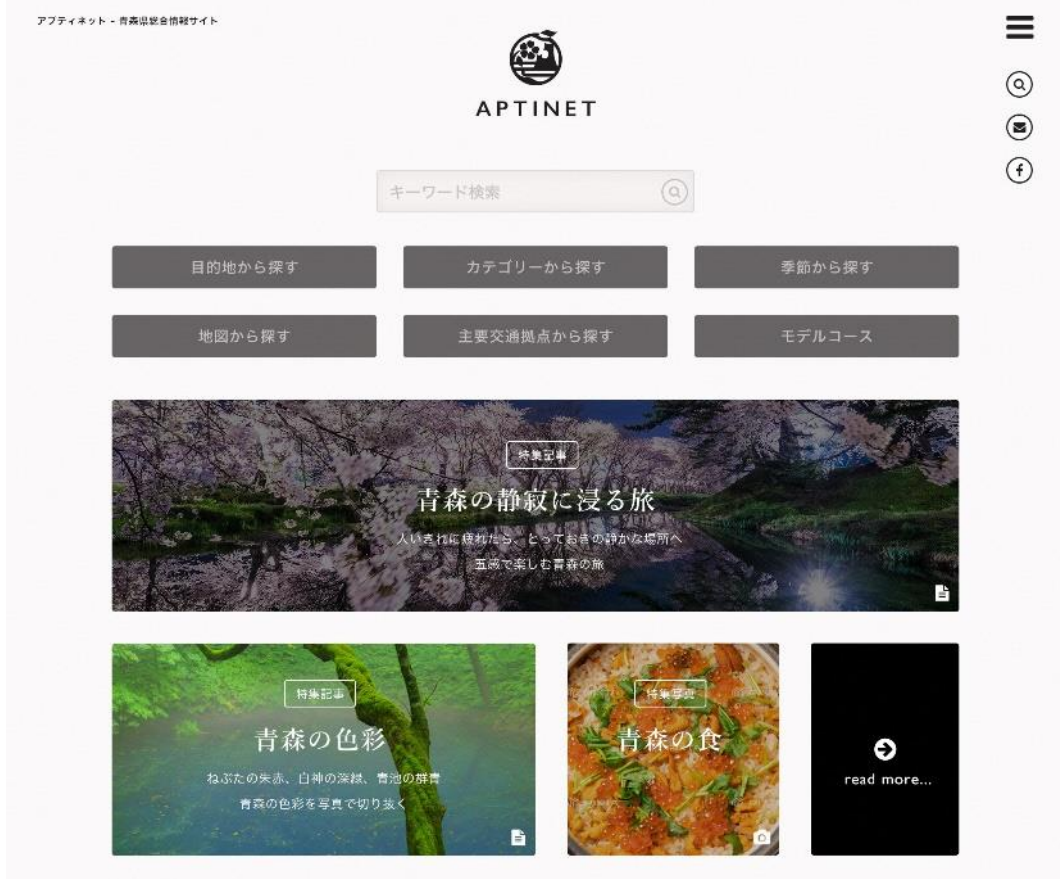
- ① サイト訪問者に青森県の観光の魅力を訴求できる、印象的なトップページを制作。（令和2年9月18日公開済み：ファーストビューを高画質画像、サイトのロゴ表示、メニューバー等の最低限の要素に絞り込み、サイトの概要、旅にテーマ性、ストーリー性を与えるキャッチコピー等を掲載し、導線をたどりスクロールで読み進められる構造等。）
- ② トップページデザインをベースとしながら、サイト全体を通じて統一したデザインとし、操作に一貫性を持たせ、閲覧者がストレスを感じることがないように、分かりやすさと視認性を確保し、アクセシビリティに配慮した構成及びデザイン・レイアウトとすること。

4-2 トップページデザイン

スプラッシュページ（現在公開中）



トップページイメージ



トップページ（現在公開中）

The screenshot shows the homepage of the 'Amazing AOMORI' website. At the top left, it says 'Amazing AOMORI'. In the center, the logo 'Amazing AOMORI' is displayed with '青森県観光情報サイト' (Aomori Prefecture Tourism Information Site) below it. To the right, there are language selection links for JP, EN, SCN, TCN, and KR, and a hamburger menu icon. Below the logo, there are three search buttons: '条件から探す' (Search by conditions), '市町村から探す' (Search by city/town/village), and '手筋から探す' (Search by keyword). On the right side, there are icons for search, email, Facebook, and a chat bubble. The main content area features a large banner for the '青森旅キャンペーン' (Aomori Travel Campaign) with the text '縄文時代以来、最大のサービス' (Largest service since the Jomon period). Below this are two smaller campaign cards: one for 'あおもり' (Aomori) with the text '宿に泊まって青森を応援する' (Support Aomori by staying in a hotel), and another for '青森くるま旅' (Aomori Car Travel) with the text 'お得なタクシー・レンタカーで青森を旅しよう!' (Travel Aomori with affordable taxis/rental cars!). At the bottom, there are two featured article cards: '青森の紅葉を巡る旅' (A Journey Through Aomori's Autumn Leaves) and '青森の絶景と出会う旅' (A Journey to Meet Aomori's Scenic Views).





青森県民・青森県を訪れる
観光客の皆様へ

新型コロナウイルス
感染症について



TOPICS

新着情報

2020.11.20

令和2年度「青森県内の紅葉情報」を掲載しました。

2020.10.30

パンフレット「あおもり紀行 2021冬・春編」

SEASONAL

旬の情報



下北みそ貝焼き

📍むつ市

ホタテの貝殻を鍋代わりにし、焼き干しのダシ汁、ホタテや地元の旬の食材、味噌や溶き卵を入れて煮込む

TOPICS

新着情報

2020.11.20 令和2年度「青森県内の紅葉情報」を掲載しました。

2020.10.30 パンフレット「あおり紀行 2021冬・春編」を掲載しました。

2020.10.21 奥入瀬手荷物配送サービス実証事業「奥入瀬手ぶら観光キャリアサービス」実施計画のお知らせ

2020.10.10 泊まって応援・旅して発見 あおり宿泊キャンペーン秋・冬 特設サイトはこちら

2020.11.26 葛沼展望デッキの入場事前予約の導入と洗滞対策協力金の徴収に関するお知らせ

🔍 過去のトピックスはこちらから

SEASONAL

旬の情報



下北みそ貝焼き

📍むつ市

ホタテの貝殻を鍋代わりにし、焼き干しのダシ汁、ホタテや地元の旬の食材、味噌や溶き卵を入れて煮込む郷土料理。ちなみに、津軽地方では同じ料理を貝焼き味噌...



ミステリーの魔術師 高木彬光生誕100年展

2020/10/24 - 2021/01/11 📍青森市



金魚美抄2020～金魚を描くアーティストたち～

2020/11/28 - 2021/01/11 📍青森市

観光ガイド

県内各エリアのガイド情報

青森県文化観光

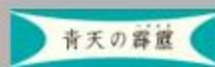
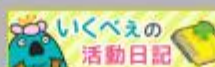
大使のご案内

青森県通訳案内士

のご案内

観光案内所

青森県の観光案内所・物産販売所




4-3 コンテンツページデザイン

特集記事コンテンツページ（現在公開中）

① 青森の絶景と出会う旅

～青森の海、山、湖が織りなす、想像を超えた絶景!!心揺さぶられる、邂逅の旅へ～

<https://www.aptnet.jp/feature-202009.html>



The screenshot shows the top portion of a website. At the top left is the text 'Amazing AOMORI'. In the center is the logo 'Amazing AOMORI' with '青森県観光情報サイト' below it. On the right, there are navigation links for 'JP', 'EN', 'SCN', 'TCN', and 'KR', along with a hamburger menu icon. Below the logo is a search icon, a social media icon, and a language icon. A breadcrumb trail reads 'トップページ > 青森の絶景と出会う旅'. The main visual is a large, vibrant image of a lake and mountains. Overlaid on this image is the title '青森の絶景と出会う旅' and a sub-headline: '～青森の海、山、湖が織りなす、想像を超えた絶景!!心揺さぶられる、邂逅の旅へ～'. A small '特集記事' (Special Article) tag is visible on the image.

特集記事


青森の絶景と出会う旅

～青森の海、山、湖が織りなす、想像を超えた絶景!!
心揺さぶられる、邂逅の旅へ～

取材・撮影日 2020.09.03～2020.09.06

全国の“絶景ファン”の目で、とかく話題にのぼるのが青森県。
人知が及ばない、手つかずの自然が今なお色濃く残る絶景の宝庫です。
まだ見ぬ日本の美しさを、圧倒的なスケールで感動を呼ぶあの光景。
青森でしか出会えない、一期一会の瞬間を！

悠久のときが刻む命のドラマ。「世界自然遺産 白神山地」



A photograph showing a close-up of a large, moss-covered log lying on the forest floor. The moss is a vibrant green, and the surrounding forest is dense with green foliage, creating a dappled light effect.



ジブリ映画『もののけ姫』の舞台のモデルになった、原生的なブナ林



宮森町と秋田県にまたがる世界自然遺産 白神山地。原生的なブナ林が広がる世界最大級の森です。星久忠とともに、ジブリ映画『もののけ姫』の舞台のモデルになったことでも知られています。





紅葉にはまだ少し早い9月初旬。西田原村の「アクアグリーンビレッジANMDN」に車を停め、「世界遺産の径 プナ林散策道」へと向かいます。自神山地の奥深いブナの林を1時間ほどで散策できる人気の散策道です。



ブナの林に入ると、木漏れ日が降り注ぎ、みずみずしさと潤感にあふれています。聞こえてくるのは、さわさわとした葉ずれの音と野鳥の声。森の香りを胸いっぱいに取り込むと、雑踏の隅々まで癒されるよう。ブナは、その美しい姿からヨーロッパでは「森の女王」と呼ばれているとか。手でさわると白灰色の幹肌はすりとめらかなで、地衣類や苔類が抽象画のように美しい模様を描き出しています。



今朝まで降っていた雨水を受け止めたブナの葉先では、水滴が紅色の硝子玉のようにキラキラ。その一滴一滴は土に染みこみ、森の命を育みます。そして、ミネラルたっぷりの水は川から日本海や陸奥湾に注ぎ、新たな命を育むのです。葉が腐り積み重なり厚い腐葉土となったふかふかの地面を歩いていると、ブナの林が「緑のダム」といわれる理由を実感します。



しばらく進むと、朽ちて倒れた木の高木に、ぽっかりと光の差し込む空間が、よく見ると、かたわらでフナの子ちゃんが小さな葉っぱを広げています。悠久のときを越えて、太古から繰り返されてきた命のリレー。大いなる命の環のなかでは、人間もまたその1ピース。白神山地のフナ林は、極上の癒しを与えてくれるとともに、いろいろなことに気づかせてくれます。

まるでブロッコリー!? 「津軽峠」から眺める白神山地の大パノラマ!



アクアグリーンビレッジANMONから、津軽峠へと向かいます。ここからの道筋は未舗装のため、1日2往復のバスを利用。その土地の公共交通機関を利用するのも旅の醍醐味です。伊豆道を走り30分ほどで津軽峠に到着。駐車帯から眺めると、白神山地の大パノラマが広がっています。ブロッコリーのように、ちこちこした独特のフォルムはフナの森ならではの、白神岳、白神堂、丈夫峠。1000メートルを超える山々が連なる様子は圧倒的なスケールです。

白神山地の大自然が生んだ奇跡のブルー! “青の小宇宙”に吸い込まれそうな「青池」





次に向かったのは、白神山地のなかでも特に人気の高い「青池」。今細の森で絶対に訪ねてみたかった絶景スポットです。白神山地の一角にある「十二湖」は、白神山地西部にある33の湖沼群。「十二湖」という名称の湖は存在せず、湖山から眺めると12の湖沼が見えたことから、そう呼ばれるようになったのだといいます。



お土産品の販売や休憩所を備えた深溝町の「森の物産館 キョロ口」に車を停め、ここから10分ほど歩くと青池に到着。おびえてみると、一瞬で目を奪われる神秘的な光景が広がっています。池の水は透き通るようなブルー。木々の間から差し込む光の加減や見る角度によって、さまざまに変化していきます。デッキから池の中をのぞきこむと、水中の水の隅を小さな魚が泳いでいます。水深約9メートル。まるで、池のなかにもう一つの世界が広がっているかのよう。まさに“青の小宇宙”です。池の水がなぜこのような色に見えるのかは、いまだに解明されていないのだとか。白神山地の大自然が生んだ奇跡のブルーです。



世界遺産 白神山地

● 青森県、標高 3000m、深溝町

白神山地は、青森県と秋田県にまたがる約130,000ヘクタールに及ぶ高天女山信仰地の総称で、このうち中心部16,971ヘクタール(青森県側12,623ヘクタール)が1993年12月に金沢宮嶽久島とともに世界遺産(自然遺産)に登録さ... more

いつ訪れても、何度訪れても新たな感動に包まれる「十和田湖」



いつ訪れても、何度訪れても新たな感動に包まれる「十和田湖」



青森県と秋田県にまたがる十和田湖は、20万年前に起きた火山活動により形成された二重カルデラ湖。そのため、独特の地形による納涼が楽しめるのが魅力です。広大な湖をぐるりと取り囲む外輪山は、かつての火山壁です。湖を周るマチュエポイントには、いくつもの展望所が設けられています。そのなかでも、標高1011メートルと最も標高が高い御倉福山展望台に到着しました。展望台から眺めると、十和田湖ブルーと呼ばれる湖を抱くように、御倉・中山の二つの半島が突出し、異国の木々の緑がすがすがしい印象。初秋の澄んだ空気と湖。思わず深呼吸したくなるさわやかな絶景です。

遊覧船や湖上アクティビティも充実！

十和田湖では、遊覧船クルーズをはじめ、カヌー、モーターボートなどさまざまな湖上アクティビティが楽しめるのも魅力です。さっそく遊覧船に乗って湖上散歩に出かけます。御倉半島と中山半島に囲まれた中湖は、水深377メートルで日本では2位の深さ。中湖に近づくほど湖水の色が深い藍に変わっていきます。御倉半島先端部には、浴岩ドームの一部である、高さ220メートルに及ぶ大岩壁「丁度壁」が広がっています。気の遠くなるような深い藍をかきつけてつくられた、十和田湖の魅力が伝わってきます。



小回りの利くカヌーやボートでは、隠跡では行くことのできない湖沼に近づいたり、時には水中を泳ぐ魚を眺めることもできます。展望台から、大空をほぼ占める巨峰で十和田湖を見下ろしたり、湖上から水鳥の巨峰で眺めたり、十和田湖の魅力をさまざまな角度から堪能できます。



天空がぱっかりと空いた十和田湖は、まさに天然のプラネタリウム。湖沼で星空観察をしたり、月のきれいな夜は、月光に照らされた湖を眺めるのもぜいたくな時間の過ごし方。幻想的な朝もやに包まれた朝の十和田湖を眺めながら、早朝散歩も楽しめます。



十和田湖

📍 青森県

青森県と秋田県にまたがる湖で、約2,000年前の火山活動で出来た、すり鉢状のくぼ地に水がたまった典型的な二重式カルデラ湖です。海抜400m、周囲は約46km、湖は最深326.8mと大きさは日本で12位、深さは日本で3位... [more](#)

青森の新絶景スポット！ CMでも大人気の日本一長い三連太鼓橋「鶴の舞橋」



鶴田町の「津軽富士屋」に架かる「鶴の舞橋」は、全長約300メートルの日本一長い木造橋。女優・吉永小百合さんが出演するJR東日本「大人の休日倶楽部」のCMで紹介されて以来、大人気となった青森の新絶景スポットです。



9月はじめの気持ちよく晴れた日。津軽富士見湖を訪ねました。ゆるやかな3つのアーチから成る鶴の舞橋は優美で、まるで岩木山を背景に鶴が羽を広げて舞っているかのよう。周辺の自然環境や景観との調和を保つため、橋脚には樹齢150年以上の古森ヒバ700本を使用しているとか。日本古来の建築技術を駆使してつくられた、伝統美とぬくもりを感じさせてくれる橋です。水鏡のような湖面には、岩木山が映し出されています。

朝日が昇る瞬間は神々しい美しさ！



「ここはね、日中もいいけど、夜景や日の出の情景も素晴らしいですよ」と、散歩中の地光の方が教えてくれました。風をなでる空気のどこかに、まだ甘やかな夏の名残りが感じられる夜風。鶴の舞橋を訪ねると、橋がライトアップされ涼風の湖面に映る光がゆらゆら。見上げると空には満天の星が輝き、遠くにそびえる岩木山のシルエットがくっきりと浮かんでいます。星の顔とはまた違ったロマンチックな雰囲気。星と水の織りなす静謐な時間がゆっくりと流れていきます。



翌朝は早起きして、おめあての光景を見るために車をまらせます。午前5時過ぎ。ゆっくりと朝日が昇ってくると、空の色は刻一刻とドクマティックに変化していきます。オレンジ色に染まった空と、柔らかな曲線を擁く橋とのコントラスト。そして、「お山」と呼ばれ、地元の人たちに親しまれてきた信仰の山・岩木山。そのすべてが調和して、静々しささえ感じる瞬間です。氷高たちが、スーッと橋の下をよぎっていきました。岸辺のすずきを揺らし氷高をわんる風に、涼とした秋の気配が漂います。



橋の異構

▼ 観光地

全長300mを超える日本一長い木造の「池田鉄橋」。津軽湾十見湖に映る姿は編み物でとても華しい。遠くに岩木山を望むことが出来ます。長さ…300m 幅…3m 橋脚の径…直径30cm（樹齢150年以上） 使用材料…青森産「Dば」[more...](#)

つくったのは鬼か神か？ 奇跡の造形美・下北半島「仏ヶ浦」



下北半島の西岸にある「仏ヶ浦」。国道338号沿いにある「仏ヶ浦展望台」から眺めると、独特の形をした岩窟が連なり、この世のものとは思えない奇形が広がっています。仏ヶ浦は、太古の海底火山によって生まれた緑色凝灰岩群により、その原形ができたと考えられています。海苔に準殖した緑色凝灰岩は、長い年月をかけて津軽海峡の荒波や風雪により少しずつ削られ、今のようになんてなるといいます。



魅力と魔力の異世界が出現！
まるで白昼夢のような光景に圧倒される



国道338号沿いに設けられた駐車場に車を停め、遊歩道を下り私ト遊歩道をめざします。約20分後、鬱蒼とした木々の間から少しずつ視界が開けてきます。すると、目の前の海岸には、まるで白昼夢のような異世界が出現！ 巨大オブジェのような洞には、それぞれ名前が付けられています。角度によって如来様の顔に見える「如来の首」、龍の頭のような「岩龍首」、二羽の鳥のように見える「双鳥門」、海岸の北約200メートルの場所にある巨大な崖「五百羅漢」など。誰方もない年月をかけて自然がつくり出した芸術品が、圧倒的なスケールで胸に迫ってきます。



ここは本当に日本？
エメラルドグリーン的大海と白い岩の美しいコントラスト



正元に視線を落とすと、美しいエメラルドグリーン的大海が広がっています。岩場のため非常に透明度が高く、魚の群れや岩に寄り付いた貝も見えます。澄んだ海と白い岩とのコントラスト。胸のすくような絶景です。

1922(大正11)年に、この地を旅した大町佳月が、その美しさを「神のわざ 鬼の手づくり 仏字陀(仏ヶ浦)人の世ならぬ新なりけり」と詠っています。まさに、人知をはるかに超えた神祕の絶景です。



仏ヶ浦

● 0.44km

激雷激しい洋程海峡の荒波が削り上げた大自然の造形、仏ヶ浦は冬の厳しい寒を夏の穏やかな夢の高方を持っています。白緑色の凝灰岩が約2kmにわたって連なる奇岩の数々は、見るものの心に様々な造形を感入してくれます... more

Twitterでシェア

Facebookでシェア

② 青森の紅葉を巡る旅

～山々や溪流を彩る感動の世界！圧倒的なスケールで胸に迫る、錦秋の青森へ～

<https://www.aptnet.jp/feature-202011.html>

Amazing AOMORI JP EN SCN TCN AR

Amazing AOMORI
青森県観光情報サイト

トップページ > 青森の紅葉を巡る旅

特集記事

青森の紅葉を巡る旅

～山々や溪流を彩る感動の世界！
圧倒的なスケールで胸に迫る、錦秋の青森へ～

取材・撮影日 2020.10.17～2020.10.28

「青森の紅葉を見に来ない？」
友人から届いた一通のメール。
青森県は、八甲田や葛沼、奥入瀬溪流など、全国有数の紅葉スポット。
手つかずの雄大な自然が残されており、
樹と木の季節差により、葉が鮮やかに色づき
山々を美しく染め上げるのだといいます。
絶景に出会うため、紅葉の青森をめざします。



全長360メートルのアーチ橋「城ヶ倉大橋」から眺める 大パノラマの紅葉



八甲田山は、単体の山ではなく、十和田八幡平国立公園の北部にある連峰の総称。主峰・大岳を中心に10余の山々で構成されているといえます。

友人の車に乗り、青森の紅葉を巡る旅は、十和田八幡平国立公園内にある人気の紅葉スポット・城ヶ倉大橋からスタート。橋の近くに設けられた駐車スペースに車を止め、まずは美しい橋と紅葉のコラボを楽しみます。城ヶ倉沢谷をまたいで断崖絶壁をつなぐ全長360メートルの橋は、上落式アーチ橋としては日本一の長さ。橋の上に立ち周囲を見渡すと、八甲田連峰や遠くに見える岩木山など360度の巨大パノラマが仕舞です。谷底までは122メートル。橋の下をのぞくと、はるか下に白い霞のように体をくわせた一筋の深流が見えます。川の水は強酸性のため、魚は生息していないのだとか。手つかずの自然美に抱かれて、森の朝の空気を胸いっぱい吸い込みます。



「雲上の霊泉」酸ヶ湯温泉。
国道103号沿いに点在する地獄沼と睡蓮沼の紅葉を堪能





酸ヶ湯温泉は、300年以上の歴史を持つ山の温泉宿。160畳ほどの巨大なヒバ造りの蒸浴大浴場・千人風呂が有名です。硫黄の匂いが立ち込める周辺を散策していると、榮師神社と書かれた鳥居を見つけました。昔、けがをした鹿を治っていた左衛門四郎というマタギが、寒寒に湧く不思議な温泉で鹿が傷を癒しているのを見つけたのが酸ヶ湯温泉の始まりとか。左衛門四郎が祠を造営し、鹿をまつたのが現在の神社だと言います。神社に参拝して今回の旅の無事を祈ります。



酸ヶ湯温泉の近くに、地獄沼があります。八甲田の雄髯火口跡に近くから湧き出る温泉水がたまったものだとか。周辺には、硫黄を含んだガスや温泉が噴出し、大地の鼓動を感じさせてくれます。もくもくと立ち込める湯気が、赤や黄色に色づいたブナやナラ、カエデ、タケカンバを包み込み、地獄というより極楽浄土のような幻想的な光景です。



さらに国道103号を進むと、八甲田周遊ルートの頂点・標高1040メートルの笠松峠です。すぐ近くにあるのは睡蓮沼。スイレン科のエゾヒツジグサが自生していることからその名がつけられたのだとか。整備された歩道を歩いて約5分。一気に視界が開け、沼の向こうに美しく色づいた八甲田連峰の山々を眺望できます。



八甲田ロープウェーから眺める巨大パノラマに感動！





さて、今回の旅の楽しみのひとつが、八甲田の紅葉トレッキング。登山コースは、初級者から上級者向けにさまざまなルートがあるようですが、今回は、初級者～中級者向けのルートを選択。八甲田ロープウェーを使って山頂まで登り、約2時間半のトレッキングを楽しみながら檜ヶ湯温泉まで下ってくるルートです。八甲田ロープウェー山麓駅から山頂駅までは高低差650メートル。約10分間の空中散歩です。ロープウェーの窓からは、360度どの角度からも紅葉が楽しめます。山頂に近づくにつれ、眼下に広がる紅葉が次々に表情を変えていきます。



ロープウェーを降りると、山頂は360度の大パノラマ！南には南八甲田湖と十和田湖、北には下北半島から津軽海峡、遠くに見えるのは北海道でしょうか。青葉を忘れるほどの絶景です。

さて、ここから歩いて八甲田ゴードラインへ。途中で津軽三味線を演奏している男性に出会

ロープウェーを降りると、山頂は360度の大パノラマ！南には南八甲田連峰と十和田湖、北には下北半島から津軽海峡、遠くに見えるのは北海道でしょうか。青葉を忘れるほどの絶景です。

さて、ここから歩いて八甲田ゴードラインへ。途中で津軽三味線を演奏している男性に出会いました。三味線が好きで、ここで演奏したいと思って山を登って来たのだそうです。パチの動きに合わせて、三味線の音色が澄んだ秋の空に響き渡っていきます。まもなく、長く白い季節を迎える八甲田。冬眠する動物たちがこの時期、たっぷりの栄養を蓄えるように、アオモリトドマツもブナも、その旋律にじっと耳を澄ませているような気がしました。



まるで天空の楽園！
思わず歓声が響く下毛無岱の絶景

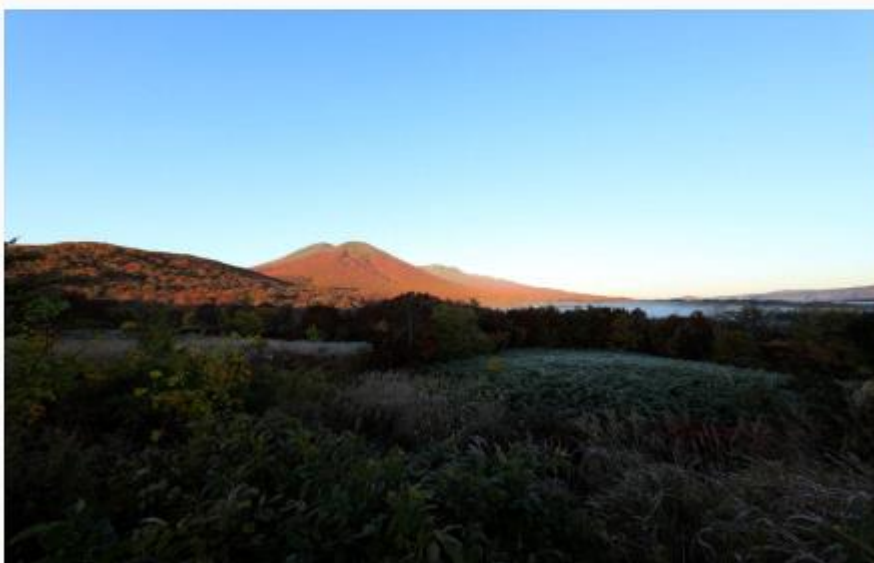


木道を歩いて行くと、高層湿原・毛無岱に差し掛かります。上毛無岱を進んでいくと、前方から「ワーツ」という歓声が聞こえてきました。近づいてみると、眼下には雲をのむような絶景の下毛無岱。黄金色になびく葎草が地面を覆い、赤や黄、オレンジのモザイク模様のまわりを常緑のアオモリトドマツの林が囲んでいます。点在する池沼はうっすらと水をたたえ、見上げれば秋の空。文筆家で登山家でもある深田久弥が、『日本百名山』のなかで、毛無岱を「神の工を尽くした名園」と稱っただけに、一枚の絵のような光景が広がる天空の楽園です。

ここからさらに下って行くと、少しずつ紅葉の色が変化していきます。色づきの変化を体験しながら歩いて行くと、ようやく降り湯温泉に到着です。



銀色に輝く霜の大海原と、朝日に照らされた紅の山々



「どうしても見せたい光景がある」という友人に誘われ、夜明け前に宿を出発。釜野茶屋付近で車を停めて空を眺めると、山々の上空に星がまたたいています。空気が澄んでいるためか、紅葉した山々に星たちの輝きが降り注ぐようです。



東の空が紅に染まり、夜明けが近づいてきました。田代平付近から眺めると、目の前にそびえる標岳に朝日があたり、山肌を赤く染めていきます。それと対照的に牧草地一体は白い霜で覆われモノクロの世界。風が吹くと霜がガラス細工のようにキラキラと輝きます。友人によると、放射冷却で冷え込む秋の早朝にしか見られない絶景なのだとか。霜が昇り気温が上がると消えてしまう、はかなくも美しい光と影の芸術。かの光の魔術師・レンブラントにも描けない大自然のアートです。



八甲田山

📍 青森県

那須火山帯の中の、八甲田火山群地域を八甲田連峰と称します。そして、大岳(1,585m)を主峰として高田大岳、井戸岳、赤倉岳、前嶽、田代池岳、小岳、崎黄岳、石倉岳、幡岳と10の山々を北八甲田、巒ヶ峰を... [more](#)



「葛野鳥の森」にある「沼めぐりの小路」へ



気持ちの良い秋晴れの朝。この日は、十和田八幡平国立公園内にある「葛野鳥の森」を散策する予定です。世界自然遺産白神山脈と並ぶほどの深いブナ林のなかには、「葛七沼」と呼ばれる7つの沼があります。葛沼・鏡沼・月沼・長沼・菅沼・ひょうたん沼・赤沼で構成される湖沼群です。少し離れた場所にある赤沼を除く6つの沼の間には約3キロメートルの「沼めぐりの小路」が整備されていて、ハイキングがてら気軽に紅葉を楽しむことができます。





温泉の近くにある温泉ビジターセンターに車を停め、遊歩道入口へ。小さな川沿いの散策路を歩くと、苔むしたブナや岩の罅に赤や黄の葉が映え美しいコントラストを見せています。第七沼最大の蒸沼に到着しました。湖畔のデッキから眺めると、沼を囲むブナをはじめ、色とりどりの木々が水鏡のような水面に映し出されています。雲の流れによって光が刻一刻と変化し、いつまでも眺めていても飽きることがありません。水の透明度が高く、ヒメマスやイワナが泳ぐ姿が見られることもあるといいます。





ブナの木立から降り注ぐ黄金色の光のシャワーを浴びながら、森のなかをゆっくりと歩いて行きます。岩と岩の間を縫って流れる清流や水辺のシダ類の写真を撮っていると、遠くから野鳥の声が聞こえてきました。ここは、さまざまな野鳥が生息する野鳥保護区。オシドリ、カワセミ、アカショウビン、ヤマセミなどが生息している野鳥の聖地です。



月沼に到着しました。立ち枯れの木が白く浮かび上がる様子は、幻想的で思わず息を呑むほどの美しさ。斜めに傾いた木には黄色い葉がからみつき、ブナに混じってカエデの赤やオレンジが彩りを添えています。





さらに進むと、長沼付近に東家が設けられていました。鮮やかに染まる落葉樹のなか、針葉樹のハイヌガヤという低木が緑のアクセントに。日本海側を中心とする多雪地帯に生息し、枝がよくしなるため八甲田の豪雪にも耐えられるのだといいます。

ひょうたん沼にあった案内板によると、ひょうたん沼は、すでにスゲ類やヨシ、ヤマハンノキなどが茂り、沼から湿原に姿を変えようとしているのだといいます。近くには、ウ口がでさて朽ちかけた木が佇んでいます。森はこうして長い年月をかけて姿を変えながら命をつないでいきます。



八甲田を満喫して十和田湖を眺めながら期待を高めて奥入瀬へ。



薦沼

📍 十和田市

十和田八幡平国立公園内に、「萬七沼」と呼ばれる沼が点在している。高温泉裏手をスタート地点として、6つの沼を巡る1周2.8kmの「沼めぐりの小道」が整備されている。〔※透明度日本第3位を誇る... [more](#)〕



溪流美と紅葉の絶景に心震える「奥入瀬溪流」

奥入瀬溪流は、十和田湖畔・子ノ口から焼山までおよそ14キロメートル続く溪流。車道沿いには整備された遊歩道があります。手をのびせばすぐ手が届くところに美しい溪流や苔むした岩、滝などが点在しており、全国有数の紅葉スポットとして人気です。

日本庭園を思わせる風情と、天然の盆栽のような岩々



溪流沿いにはバス停も設けられているので、バスを利用しておめあての溪流スポットに移動できるのも便利です。下流側の石ヶ戸休憩所の駐車場に車を停めて歩いて行くと、3つの川が合流する、三股の流れが見えてきました。紅葉のトンネルに包まれた溪流には大小の岩々が点在し、激流もの流れをつくり出しています。苔におおわれた岩の上にはヤマツツジやタニウツギ、コミネカエデなどが生えており、まるで天然の盆栽のよう。ここから上流には大きな支流がなく、溪流の水はほとんどが十和田湖から流れ出たものだろう。そのため、どんな大雨でも増水することがなく、こうした景観が保たれているのだそうです。しばらく行くと、2匹の秋田犬に出会いました。足元でカサコソと音をたてる落ち葉や、甘い匂いを放つカツラの木に興味津々の様子です。





石ヶ戸の滝は、絹糸のように繊細な水の流れに紅葉が映え、さながら日本庭園のような優美な風情です。八甲田の山腹の道から眺める紅葉とはまた趣が異なり、手をのばせばすぐ届くところに広がる紅葉の美しさは格別です。



「奥入瀬のもうひとつの楽しみは、苔の観察だよ」と、友人。確かに、岩肌や倒木、ベンチなどいたるところが苔で覆われています。友人から干拓されたルーペで苔を観察すると、見たこともない不思議な造形とみずみずしい輝きに思わずため息が！奥入瀬渓流には、200種類以上の苔が生育しているといわれています。「雨の日や、雨上がりは特にきれいだよ」と、友人。苔の織りなす小宇宙も奥入瀬渓流の魅力です。

苔の緑と紅葉の赤のコントラストが美しい秋の奥入瀬渓流を満喫しながら、次の洞へ向かいます。





溪流を染め上げる木々と変化に富んだ滝

溪流のなかで一番流れが激しいという、阿修羅の流れに到着しました。岩の間を流れ落ちる清流は白波としぶきをあげて流れていきます。

しばらく行くと、壺井の滝が見えてきました。高さ約20メートルの滝が3段に層別しながら高つばに落下しています。周辺には獲車にも重なる木々が広がり、雷動感たっぷりです。





ここからバスに乗って鏡子大滝へ移動。幅20メートル、高さ7メートルの鏡子大滝は、奥入瀬田指の景勝地です。まるで水のカーテンのような滝と紅葉が美しいコントラストを見せてくれます。かつて、十和田湖に魚が生息しなかった理由のひとつには、鏡子大滝が門となって魚が遡上でできなかったからで魚止めの滝とも呼ばれています。四季折々に魅力たっぷりの奥入瀬深池ですが、雪に閉ざされる前の限られた時期だけ出会う、燃えるような紅葉と渓流のコラボは心震える感動の連続です。





奥入瀬渓流

📍 十和田市

十和田湖の子ノ口から釜山までの約14kmの流れて、豊かな樹木や十数か所の滝と、千変万化の美しい流れや様々な奇岩・奇跡が見事な渓流美を作り出しており、四季折々の自然美を堪能できます。新緑は... [more](#)



🐦 Twitterでシェア

📘 Facebookでシェア



※掲載されている情報について、該施設の事情により変更になる場合がございます。事前に施設・主催者等へお問い合わせください。

アウガ新鮮市場

あうがしんせんいちば

市町村：青森市

◆青森駅前のアウガの地下に鮮魚・乾物・野菜などの店舗や新鮮素材が味わえる飲食店が並ぶ「新鮮市場」があります。早朝散歩とともに市場でお買物と朝ごはんを楽しんでください。

○アウガ新鮮市場

営業時間／午前5時から午後6時30分
定休日／要問合せ

住所 青森市新町1-3-7（アウガB1）

TEL 017-718-0151

お問い合わせ アウガ新鮮市場

冬期営業時間 12/31(5:00~17:00)
1/1~1/2(8:30~18:00 ※一即店舗休業)

関連キーワード 青森市 アウガ 新鮮市場

関連リンク ■ [アウガホームページ](#)



マップはこちら

自分でつくる ドライブルート @ 青森

Myルートに追加 Myルートを見る

いくつかのスポットを で選択し
最後に を非すと、最適プランが作成できます。



周辺の観光情報（同カテゴリ）



青森湾跨海架け橋
シップ 八甲田丸



A-FACTORY



青森市立美術館
ぬぶたの家
ワッセ

周辺の観光情報（他のカテゴリ）



古川市場 のつけ丼



ほろカレー牛乳ラーメン



特別展望 三内丸山遊
覧

アクセス (現行サイト掲載中)

アクセス

公共交通ガイド

✈️ 航空機

🚆 鉄道

🚌 高速バス

🚢 船

① JAL国内線予約・案内 … TEL : 0570-025-071
TEL : 03-5460-0522
※三沢⇄札幌(丘珠) … TEL : 0570-025-071

② FDAコールセンター … TEL : 0570-55-0489
TEL : 050-3852-1669 (IP電話)

③ ANA国内線予約・案内センター … TEL : 0570-029-222

④ 大韓航空 … TEL : 0088-21-2001 又は 06-6264-3311

⑤ エバー航空 … TEL : 0570-666-737

東京	1時間15分～20分 … ①	青森
大阪(伊丹)	1時間25分～35分 … ① 1時間40分～50分 … ③	青森
札幌(新千歳)	45分～55分 … ①③	青森
名古屋小牧	1時間20分～25分 … ②	青森
大阪(神戸)	約1時間50分 … ②	青森
ソウル	2時間20分～35分 … ④	青森
台湾(桃園)	約3時間35分 … ⑤	青森
東京	1時間20分～25分 … ①	三沢
大阪(伊丹)	1時間30分～45分 … ①	三沢
札幌(丘珠)	約1時間 … ②	三沢


※運航状況等については、各航空会社へお問い合わせください。

あおもり観光PR動画ページ（現行の映像コンテンツ）


あおもり観光PR動画

弘前公園の桜、ねぶた祭り、十和田湖の紅葉、八甲田の雪氷…。
四季折々の美しい風景はもちろん、祭り、職文、温泉など、魅力あふれる青森県。
グルメや伝統文化も交え、「行くたび、あたらしい、青森」の魅力を、ぎゅっと詰めこんだ映像を公開しております。
臨場感あふれる美しい映像で、青森県をお楽しみください！


●青森の春の魅力




●青森の夏の魅力




●青森の秋の魅力




●青森の冬の魅力



●青森グルメ



●青森の祭り・伝統



イベントカレンダーページ

前月

eventcalendar

2021年2月

次月

▼ 2021年2月2日（火）に開催されるイベント一覧（9件）



津軽鉄道・ストーブ列車
開催期間：12月01日～03月31日
毎年恒例のストーブ列車が、今年も昔の津軽を走ります。…



弘前エレクトリカルフ…
開催期間：12月01日～02月28日
冬の風物詩として毎年ご好評をいただいているイルミネー…



アーツ・トワタ ウィン…
開催期間：12月18日～02月14日
～光とアートのコラボレーション～約30万球もの青色L…

日	月	火	水	木	金	土
	01 (9件)	02 (9件)	03 (9件)	04 (8件)	05 (8件)	06 (8件)
07 (11件)	08 (9件)	09 (9件)	10 (10件)	11 (10件)	12 (10件)	13 (11件)
14 (11件)	15 (8件)	16 (8件)	17 (8件)	18 (8件)	19 (8件)	20 (10件)
21 (11件)	22 (8件)	23 (8件)	24 (7件)	25 (7件)	26 (7件)	27 (8件)
28 (8件)						

5 サイト機能

5-1 地図表示機能

観光情報コンテンツ内に外部地図サービスを連携させ、新しいリンク先に飛ぶことなく、ページ内での円滑な位置情報の提供をする。

5-2 イベントカレンダー機能

カレンダー形式のインターフェースによるイベント情報等の参照機能。観光情報コンテンツと連携させ、イベントの概要も一緒に把握できるようにすること。

- カレンダーは月ごとに切り替え可能。
- カレンダー内の日付を選択し、開催されるイベント一覧情報を取得する。
- 初期表示時は、閲覧時当日に開催されるイベントを一覧表示する。
- フリーワード、エリアやカテゴリーでのイベント検索ができる。

5-3 画像ダウンロード機能

青森県の観光振興を目的としたユーザーが、サイト内に用意した画像をダウンロードできる機能。

- 画像掲載ページもしくは専用ページから任意の画像を選択し、ダウンロードを可能とする。
- 各画像は、タイトル・市町村・季節・カテゴリー・キーワード・サイズ・登録日といった情報を持つ。
- 画像検索は、タイトル・市町村・季節・カテゴリーでの絞り込みが可能となる。
- 画像の利用規約について掲載し、同意したユーザーのみがダウンロードできる。
- ダウンロードされた画像の使用目的等を把握するため、申請フォームを設ける。
- 個人及び法人での申請を可能とし、県担当者による承諾を得る仕組みとする。また申請者及び申請者がダウンロードした画像については、一元管理できるものとする。

5-4 関連記事レコメンド機能

閲覧中の観光情報の住所周辺に存在するその他の観光地や、同一カテゴリーを持つ情報を関連記事として紹介する。

- 閲覧している観光情報に類似した別の観光情報を観光情報詳細ページ等に表示する。
- グルメ情報を閲覧中のユーザーには、周辺の温泉情報を提供するなど、旅行計画に役立つ観光情報を提案。

- ユーザーのプロフィール情報（年齢、性別、趣味、現在地など）や閲覧記録をもとに、閲覧する可能性が高い観光情報を紹介する。

5-5 チャットボット連携表示機能

チャットボット（青森県観光AIコンシェルジュサービス）とシステムの連携を強化し、外部リンクではなく、ページ内での表示を実現させ、ユーザーの円滑な情報収集をサポートする。

5-6 SNS 連携機能

各種 SNS とのシステムの連携機能により、効果的な情報の拡散や、サイトへの訪問機会及び各コンテンツへのアクセス増加など SNS 流入を強化する。

5-7 AI システム連携機能

AI システムを活用・連携し、ユーザーニーズの把握から旅マエ・旅ナカに合わせ、タイムリーかつ最適な情報を提供する機能。

5-8 お問い合わせ機能

各種問い合わせに対応したフォームを設置し、ストレスのないような仕組みを構築する。チャットボットや AI システムで解決できる内容の問い合わせに関しては、スムーズに誘導し、ユーザーに情報をすばやく届けるものとする。

5-9 緊急情報発信機能

トップページにて緊急情報を発信できる機能を保持する。新型コロナウイルス感染症に関する通知やサーバーメンテナンスによるサイトの一時シャットダウン等の際の使用を想定すること。

5-10 アクセス解析・ヒートマップ表示機能（サイト管理者側機能）

ユーザーフレンドリーな Web サイトの提供を目的として、アクセス解析ツールやヒートマップツールを導入する。

アクセス解析については以下の項目を補えること。

- 管理者向けアクセス解析機能を提供できること。

- 管理者が容易に、アクセスログを日別、月別等で確認し、解析できること。また、データを容易に取得できること。なお、解析結果のデータは、CSV ファイル等で容易に保存、出力できること。
- 全ページ及び各ページのアクセス件数ならびにページビュー数を取得できること。
- 検索されたキーワードの解析ができること。
- 毎月ページビュー数、離脱率などのデータからユーザーの行動分析を行い、その結果を報告すること。改善案を担当者に共有し、作業許可が下り次第、ユーザーインターフェースの改修を実施する。

ヒートマップ表示機能については以下の項目を補えること。

- ページのどこをクリックしたのか、どこまで読んだのかなど、クリック率やスクロール率などを可視化できる機能を搭載すること。

6 CMS

CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）を導入すること。CMS 導入により Web サイト上に表示するテキストやメディア（画像ファイル、PDF、その他のファイルなど）の観光情報データベース管理や、Web ブラウザ上での操作によるコンテンツの追加や更新が可能となる。コンテンツの作成では静的ページの用意が不要となり、各ページに必要なデータを常に観光情報データベースから参照することで動的なページが生成される。コンテンツの追加などの各操作は、Web ユーザーインターフェースから行う。

CMS は、オープンソース型 CMS、商用パッケージ型 CMS、フルスクラッチ型 CMS のいずれかを使用することができるが、受注者は、同規模サイトの構築及び安定稼働、運用実績を十分に有することを前提とする。

6-1 ログイン機能

管理画面で操作を行うために、ログイン画面にて、ユーザー名またはメールアドレスと、パスワードの入力を必要とする。なお、管理者アカウント（初期アカウント）は受注者が用意。

ログイン時に必要な情報は下記とする。

- ユーザー名またはメールアドレス（半角英数字で構成）
- パスワード（12 文字以上、半角英字、大文字半角英字、記号、数字を必ず 1 つ含ませる）

6-2 ユーザー管理

ログインユーザーでのユーザー一覧の参照や管理者アカウント（初期アカウント）でのユーザー追加や

削除といった操作を可能とする。

ユーザー管理の機能は下記とする。

- ユーザー一覧
- フリーワード検索
- 並び替え
- ユーザー詳細
- ユーザー新規追加
- ユーザー編集
- ユーザー削除

6-3 ユーザー権限

ユーザーはそれぞれ権限を保持し、権限ごとに実行可能な操作を設定する。

- 管理者（サイト内の全機能の操作が可能。編集者の操作に対して承認の権限を保持）
- 編集者（観光情報コンテンツについて作成・編集が可能）

6-4 お知らせ・新着情報管理

お知らせ・新着情報データの新規追加、編集・削除などを行う。

管理可能な機能は下記とする。

- 新規作成
- 削除
- 編集
- 複製（登録済のデータを複製する）
- 絞り込み検索（一覧でフリーワード、日付、カテゴリーによる絞り込み検索を行う）
- 並び替え（一覧の表示順を並び替える）

6-5 観光情報データベース管理

観光情報データの新規追加、編集・削除などを行う。

管理可能な機能は下記とする。

- 新規作成
- 削除
- 編集
- 複製（登録済のデータを複製する）
- 絞り込み検索（一覧でフリーワード、日付、カテゴリーによる絞り込み検索を行う）

- 並び替え（一覧の表示順を並び替える）

6-6 任意作成ページ管理

お知らせ・新着情報、観光情報データベースに属さないページの新規追加、編集・削除などを行う。
管理可能な機能は下記とする。

- 新規作成
- 削除
- 編集
- 複製（登録済のデータを複製する）
- 絞り込み検索（一覧でフリーワード、日付、カテゴリーによる絞り込み検索を行う）

6-7 メディア管理

サイト上で表示する画像及びファイル（PDF等）についてのデータの管理を行う。
管理可能な機能は下記とする。

- 新規登録
- 削除
- 編集
- 絞り込み検索（一覧でフリーワード、日付、カテゴリー、ファイル形式による絞り込み検索を行う）

6-8 公開状態管理

各ページについて、公開・非公開の管理を行う。
管理可能な機能は下記とする。

- 公開
- 非公開
- 下書き
- 予約

6-9 カテゴリー管理

カテゴリーを有するページについて、カテゴリーの管理を行う。
管理可能な機能は下記とする。

- 新規追加
- 編集
- 削除

- 並び替え

6-10 ピックアップ情報管理

季節や期間限定のイベント情報や旬の情報など、トップページの指定された場所に表示されるコンテンツについて管理を行う。

管理可能な機能は下記とする。

- 情報の選定（表示）
- 非表示
- 削除

7 表示画面

モバイルファーストを前提とし、ユーザビリティを考慮した設計とする。レスポンシブウェブデザインにて作成し、どの端末からでも快適に使用でき、視認性やアクセシビリティにも配慮した画面にすること。

7-1 トップページ

トップページの表示画面には下記の要素を入れること。その他、必要な項目があれば追加しても良い。

① ファーストビュー

- アイキャッチでおすすめの情報を表示し、該当ページに誘導する
- 季節やイベントに合わせた、タイムリーな情報を提供する
- キーワード等での検索窓を設けること

② セカンドビュー

- コロナ関連のお知らせやキャンペーンへの誘導
- 「買う、泊まる、遊ぶ」など、ユーザーの行動に合わせたチャンネルへの誘導
- 特集記事コンテンツ、青森ストーリーズへのリンク
- ピックアップイベント（開催中もしくはおすすめのイベント）の紹介と、イベント一覧への誘導
- 県内のエリア紹介と各エリアの情報への誘導

③ その他

下記機能及びサービスへ誘導するリンクやバナーを設けること。一般の観光者向けの情報と、観光・旅行業などの方向けの情報は区別すること。

- 青森県観光A I コンシェルジュサービス

- SNS 関連
- 画像ダウンロード
- 観光ガイド
- 通訳案内士
- 資料ダウンロード

7-2 観光情報データベース及びイベント情報、画像ダウンロードに係るページの仕様

観光情報データベース及びイベント情報、画像ダウンロードに係るページの仕様は下記の要素で構成すること。

7-2-1 観光情報データベース検索結果一覧表示ページ

観光データベース内の情報を検索し、結果が表示されるページ。

- 検索結果（観光素材名称、メイン画像、エリア、カテゴリー）の一覧
- 検索機能（キーワード・エリア・カテゴリーで検索、絞り込みができる）
- 検索結果以外のおすすめコンテンツ

7-2-2 イベント情報検索結果一覧表示ページ

イベント情報を検索し、結果が表示されるページ。

表示形式は一覧とカレンダー式の2パターンを用意し、切り替えることができる。

- 検索結果（イベント名、メイン画像、エリア）
- 検索機能（キーワード・エリア・開催期間で検索、絞り込みができる）
- 検索結果以外のおすすめコンテンツ

7-2-3 観光情報データベース個別詳細ページ

各観光スポット等の詳細情報を掲載するページ。

モバイル端末で閲覧した際、ファーストビューに名前と写真が表示されるようにすること。

- 観光素材名称
- 画像（1つ以上）
- カテゴリー
- エリア
- 概要文
- マップ（サイト機能 5-1「地図表示機能」参照）
- 問い合わせ先（問い合わせ先がある場合のみ）
- 関連観光素材
- シェア機能

7-2-4 イベント情報個別詳細ページ

イベントの詳細情報を掲載するページ。

- 観光素材名称
- 開催期間
- 画像（1つ以上）
- カテゴリー
- エリア
- 概要文
- マップ
- 問い合わせ先（問い合わせ先がある場合のみ）
- 関連観光素材
- シェア機能

7-2-5 画像ダウンロード 対象画像一覧表示ページ

ダウンロードできる画像の一覧ページ。

- 検索機能（キーワード、季節、カテゴリー、市町村で検索・絞り込みができる）
- 画像一覧（画像、画像タイトル）
- ダウンロード申請ボタン

7-2-6 画像ダウンロード 選択画像一覧表示ページ

選択したダウンロード画像の一覧ページ。

- 選択画像（画像、画像タイトル）
- 画像ダウンロード画面に戻るためのボタン
- 注意事項、画像利用規約
- 申請フォーム

8 サーバー

8-1 データセンター要件

- サーバーを設置するデータセンターの所在は日本国内とする。
- 耐震・免震構造を備えていること。
- 火災発生時にサーバーに影響を与えず消火できる設備を有すること。
- 停電時にも停止しない電源設備を有すること。
- ICカード、生体認証などにより入退室の制限を行うこと。

8-2 サーバー要件

- システムを適切に運用できるサーバー環境を構築する。
- ストレージに関しては十分な容量を用意し、冗長化構成とする。
- データ転送量については運用上支障のないもので、高負荷時にも運用可能な堅牢性を持つこと。
- ストレージ、ネットワークなど、将来的に需要が増加した際にも拡張が容易に行える構成とすること。
- ウェブサーバーについては常時 SSL 化に対応すること。
- サーバーの OS、ソフトウェアに関しては広く利用されている標準的な技術を採用すること。
- 開発環境、検証環境は受注者で用意すること。

9 セキュリティ

青森県情報セキュリティ基本方針に準じ、不正アクセス、ウイルス攻撃、サービス不能攻撃等の外的及び内的要因による情報資産の漏えい、破壊、改ざん、消去等に対するの防止措置を講じること。

9-1 サーバー・ネットワーク

- システムで利用するサーバーの OS、ソフトウェアやネットワーク機器などの脆弱性やバグに対処するとともに、適切な設定変更を行うこと。
- OS やソフトウェアのバージョンアップ、セキュリティパッチ適用を行うこと。
- システムへの不正侵入、システム停止や障害の発生を予防し、また、障害発生時の影響を最小限に食い止めるため、万全のセキュリティ対策を講じること。
- 第三者によるサーバーへの不正アクセス等により、改ざんや消失、毀損が生じた場合には、原因を解明し速やかに対策を講じること。
- サーバーへアクセスする際には暗号化方式を利用してアクセスすること。
- ウェブサイトへのアクセスログを取得し、一定期間保持すること。

9-2 ウェブサイト・CMS

- システムで利用するサーバーの OS、ソフトウェアやネットワーク機器などの脆弱性やバグに対処するとともに、適切な設定変更を行うこと。
- OS やソフトウェアのバージョンアップ、セキュリティパッチ適用を行うこと。
- システムへの不正侵入、システム停止や障害の発生を予防し、また、障害発生時の影響を最小限に食い止めるため、万全のセキュリティ対策を講じること。
- 第三者によるサーバーへの不正アクセス等により、改ざんや消失、毀損が生じた場合には、原因を解明し速やかに対策を講じること。
- サーバーへアクセスする際には暗号化方式を利用してアクセスすること。

- ウェブサイトへのアクセスログを取得し、一定期間保持すること。

10 保守管理

10-1 ソフトウェア保守

- システムの安定的運用を図るため、ソフトウェアに関して定期的な保守を行うこと。
- システム及びシステムの稼働に伴い継続的に必要となるソフトウェア製品の管理を行うこと。
- 使用するすべてのソフトウェアのバージョンアップに関しては、その適用の判断に必要な調査・評価を行い、県と協議の上、提供及び適用作業を行うこと。
- ソフトウェアやコンテンツ等に脆弱性が発見された場合は、パッチを適用する等のセキュリティ対策を行うこと。
- CMS の不具合対応やセキュリティ対策を目的とした修正パッチ適用を実施すること。なお、実施の際には、類似環境による適用テストを行ったうえで本番環境へ適用すること。
- 保守運用業務に係る契約期間終了後も、継続契約を締結した場合、本業務で定めた仕様にてホームページを運用し続けることが出来ること。

10-2 平常時保守

- 365 日、24 時間の稼働を原則とし、障害の早期発見・予防に努めること。
- 定期的にデータのバックアップを実施すること。
- CMS 操作、ホームページ全般について、メール・電話で問題解決対応の実施を行うこと。対応時間は原則とし年末年始や祝日を除く、平日の開庁時間内の対応。緊急時の場合は県と協議の上、柔軟に対応する。
- ネットワーク稼働監視を行うこと。
- アクセスが集中することが分かっている場合は事前に発注者より連絡することで閲覧に支障が出ないよう調整等を行うこと。

10-3 障害時保守

- 障害時対応マニュアルを定め、運用すること。
- 障害への対応については、システムをはじめとする各種ソフトウェアの復旧対応及びデータの復旧作業を行うこと。
- 障害事後対策として、収集した障害情報をもとに原因を分析し、同様の障害が発生しないよう是正措置・予防措置を講じること。

11 コンテンツ更新・運用

11-1 観光情報データベースの更新

- 観光情報データベースの更新・運用は、契約の範囲でテキスト・写真を最新の情報を保つこと。
- 構築後のコンテンツ更新・運用は県と協議の上決定する。

11-2 特集記事コンテンツの更新

- 特集記事コンテンツは、ディレクターの監修のもと現地を知るライター・フォトグラファー・ビデオグラファーを登用し記事を作成する。
- シーズナリーを意識し、常に旬の観光素材を取り上げ、制作すること
- 定番の場所から地元人が知る穴場までをバランス良く紹介し、旅行客目線で実際の旅への興味と期待を喚起させる記事群とする。
- 特集記事コンテンツは青森に魅力を感じるきっかけを作るストック型のコンテンツと位置づける。
- 特集記事コンテンツの更新頻度は年間4回を予定し、実施にあたり県と受注者と協議の上決定する。

11-3 運用

- ウィズコロナ・アフターコロナにおける青森県の観光を含めた様々な状況の変化に合わせ、県との打ち合わせや、企画・取材・撮影・現地視察など、感染対策予防ガイドラインを厳守しながら、スピーディーに対応・持続できる体制とする。
- 常に県内の観光における関連団体や行政及び個人とネットワークを構築・連携しながら、観光トレンドやニーズに合わせたコンテンツ提案をすること。
- オムニチャネルを意識し、青森県の観光関連サイト、多言語サイト、関連 SNS のとの連携強化をはかるものとする。
- データドリブンマーケティング（アクセス解析・AI チャット・SNS など）を実施し県の担当者へアドバイスを実施する。